

第67期 株主通信

平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日



不二ラテックス株式会社

東京都千代田区神田錦町3-19-1 ☎ (03) 3293-5681

健康創造志

経営理念

《我が社の目的》

我が社は世界の人々の健康と豊かな暮らしに
貢献し、人々に喜ばれ信頼される企業になる。

《我が社のあり方》

我が社は優れた製品を創造し、高度な品質管
理の下で製造・販売を行い、収益力の高い企
業になる。

《我々の志》

我々は志を高くし、仕事を通じて自己の成長
を図るとともに、協調して会社の発展に尽力
し社会に貢献する。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

第67期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の株主通信をお届けするにあたりまして、当連結会計年度の業績の概況をご報告するとともに一言ご挨拶申し上げます。

中核事業のひとつである医療機器事業は、主力のコンドームを取巻く市場環境は依然厳しい状況が続いておりますが、海外市場に向け新たな展望が開け、継続的に開発を進めていた新たなコンセプトの新製品を上市いたしました。もう一つの主力部門である精密機器事業は、製造関連企業を中心に顧客ニーズに対応すべく積極的な製品開発と提案営業を推進し、一層の生産性向上と効率化を進めるため、複数の新規生産ラインを投入してまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、67億9百万円と前年同期と比べ2億9千7百万円（4.6%）の増加となりました。

一方、利益面につきましては、生産合理化を中心に経営全般に亘る効率化を図るとともに諸経費の節減に努めたものの、価格競争激化によるコスト圧迫、新製品販売テコ入れへ向けた販促費投入、設備導入による減価償却費負担、さらには一部在庫の評価減を計上したことにより、営業利益は1億8千万円と前年同期と比べ2億2千4百万円（△55.5%）の減益となり、経常利益は1億6千6百万円と前年同期と比べ1億5千9百万円（△48.9%）の減益となりました。また、固定資産売却益5千1百万円の特別利益の計上がありましたが、一部事業用資産について減損損失3億6千2百万円の特別損失を計上したことなどにより、当期純損失は1億5千9百万円（前年同期は1億6千3百万円の利益）となりました。

株主の皆様への配当につきましては、当期において純損失の計上となること、また、将来の事業展開に備えるとともに設備投資を柱とした収益基盤の強化と財務基盤の安定を図ることを優先すべきと判断し、誠に遺憾ではありますが配当の実施を見送り無配とさせていただきます。

当社は、創立以来一貫して「世界の人々の健康と豊かな暮らしに貢献する」を経営理念とし、時代をリードする技術革新を進めることで、医療機器などの生活用品からショックアブソーバなどの産業用機器に至る幅広い製品を世界に届けてまいりました。これからも、多様化する時代の要請に応えるため、さらに技術開発力を高めて、新しいニーズへとつながる製品を開発・提供してまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成27年6月



取締役社長

伊藤 研二



専務取締役

西村 昌夫

セグメント別の概況

医療機器事業

主力の国内コンドームは、大型小売店・ドラッグストア・コンビニエンスストアを中心とした販路開拓に加えネット販売強化についても中核戦略と位置付け、販売チャネルの拡大および新規ルートの開拓を重点的に推進しました。また、昨年末に海外メーカーとのタイアップにて上市した新たなコンセプトによる新製品の販促キャンペーンの展開、SNSを媒体としたタイアップ企画、マーケットリサーチの強化、店頭販売の協力体制強化、定番品の確保、周辺カテゴリー商品の新規投入等に注力しシェア拡大を推進しました。



厚型0.1mmのコンドーム「ザ・ベストコンドーム ストロング」を、雑誌「ザ・ベストマガジンSpecial」とのコラボレーションにて発売いたしました。



水圧による体圧分散を利用して、使用する人の頭頸部や姿勢に合わせて形状が変化するオーダーメイド感覚の水まくら「S-sleep」を鍼灸院・接骨院・カイロプラクティックなどのサロン様向けに発売いたしました。

国内市場では依然として消費の減少傾向、価格競争、価格の2極化が続き、加えて天然ゴムに代わる新素材製品のシェア上昇傾向も続き、天然ゴム素材製品を主体とする当社は厳しい展開が続きました。また、冷却商品は競合製品の増加とリピート需要の一巡、アイテム数の絞込み、一部在庫の評価減計上により売上、利益とも苦戦しました。一方、輸出につきましては継続的に展開してきたアジア地域・欧州を中心とした日本製高品質をアピールした新製品の提案と新規開拓施策が奏功し、新たなオファーに結実し増収に転じました。

精密機器事業

メディカル製品については、医療現場での感染防止意識の高まりにつれて、超音波診断装置等のプローブカバー（感染予防製品）、内視鏡用の医療バルーンを中心として引き続き堅調に推移しました。また、医療現場のニーズに応えるべく開発したアレルギーフリー新素材製品は市場の認知度も上がり引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は17億8千5百万円と前年同期と比べ8千3百万円（△4.5%）の減少となりました。

セグメント損益は、生産合理化を継続的に推進し原価低減に努めましたが、売上低迷により増産効果を享受できず、加えて棚卸資産の評価損および先行する大型の販促企画関連コスト負担が大きく影響し、3億4千8百万円の損失（前年同期は5千9百万円の損失）となりました。



合成ゴム製で天然ゴム由来のアレルギーなしのプローブカバーが仲間入りしました。

主力のショックアブソーバおよびロータリーダンパーは、景気回復に伴い国内、輸出関連とも引き続き受注は堅調に推移しました。国内市場においては、製品バリエーションを強化しさらに進化させた主力の小型ショックアブソーバに加え、従来から製品ラインナップを強化すべく開発に注力してきた大型産業用ショックアブソーバおよびエマーゲンシーダンパー等も市場に認知され売上増加に寄与しました。一般産業用の分野では設備投資が徐々に回復するものの、産業用向けショックアブソーバの受注は本格的な回復には至らず伸び悩みました。従来から主要な市場として位置付け、重点的に市場開拓を継続している住宅設備関連の受注が大きく伸長しました。加えて自動車関連、家電、OA機器関連の分野で受注回復傾向が顕著になり堅調に推移しました。



郵便受箱投入口のフタに、当社FPDシリーズが採用されています。フタが閉まる時の“音”を軽減。またゆっくり閉まることで、手や指を挟みにくくし安全性をより高めています。



自動車の格納式テーブルに、当社FPDシリーズが採用されております。FPDシリーズで動きをコントロールする事により、安全で静かな車内空間を実現しております。

海外市場では、当社の大手取引先のある欧州の景気低迷の影響もあり受注は伸び悩みましたが、前年を若干上回る実績となりました。また、当年度についても従来から推進している製造ラインの全自動化・半自動化、加えて増産に向けた自動化ラインの新規投入による製造原価低減、人員の適正配置を含めた生産効率化と製造経費の低減、販売費節減への継続的取り組みを行いコスト圧迫要因の吸収に注力しました。

この結果、売上高は42億8千9百万円と前年同期と比べ3億9百万円（7.8%）の増加となりました。

セグメント利益は、海外市場でのさらなるコストダウン要求や滞留在庫の処分・評価減の影響がありましたが、合理化をベースとした原価低減への取り組みや増収効果もあり、8億5千7百万円と前年同期と比べ1千8百万円（2.2%）の増益となりました。

SP事業

ゴム風船が主力となる販促用品市場はニーズの多様化と市場の縮小が続きましたが、景気が回復基調にある中、広告販促活動やイベント等に徐々に持ち直しの傾向が見られました。

また、テーマパークでの好調な集客等も寄与し、ヘリウムガスの供給も徐々に回復する中で市場環境は好転する兆しが見えましたが、本格的な回復には至りませんでした。しかし、従来から継続している提案営業をベースにした新たな商材の提供が奏功し、主力のゴム風船およびフィルムバルーンの受注が持ち直しました。また、限定的ではありますがイベントの受注も増加し、売上利益とも底を脱し利益は黒字に転じました。

この結果、売上高は4億9千1百万円と前年同期と比べ5千2百万円（12.0%）の増加となりました。

セグメント利益は、増収効果もあり3百万円（前期同期は3千万円の損失）となりました。

その他

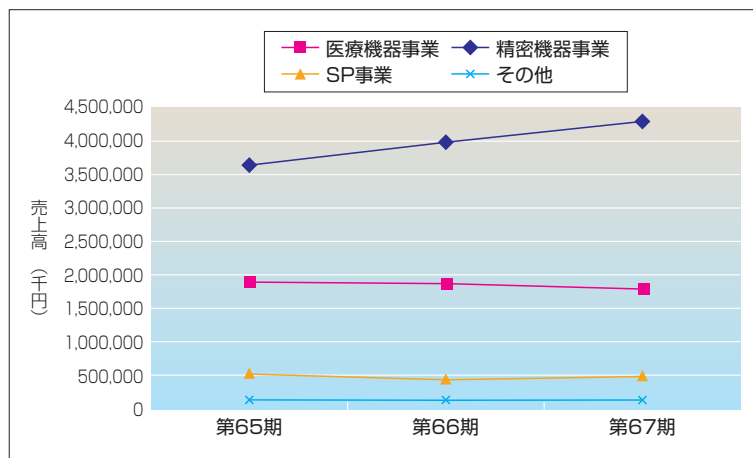
売上高は1億4千2百万円と前年同期と比べ1千8百万円（15.4%）の増加となりました。

セグメント利益は、値上げ効果が大きく寄与し1千5百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。

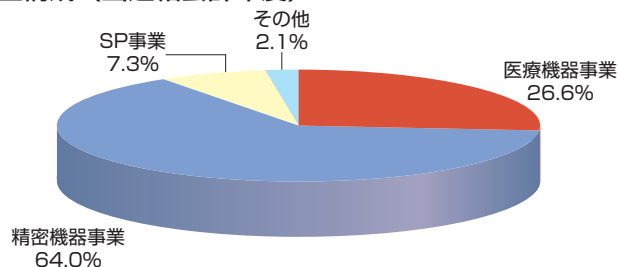
区 分	第65期		第66期		第67期 (当連結会計年度)		前年度比増減(△)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減(△)率
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
医療機器事業	1,901,148	30.8	1,869,653	29.2	1,785,720	26.6	△83,933	△4.5
精密機器事業	3,628,519	58.8	3,979,412	62.1	4,289,314	64.0	309,902	7.8
S P 事 業	515,128	8.4	438,889	6.8	491,672	7.3	52,783	12.0
そ の 他	126,080	2.0	123,616	1.9	142,598	2.1	18,981	15.4
合 計	6,170,877	100.0	6,411,571	100.0	6,709,305	100.0	297,734	4.6



複写機の給紙トレイに、当社FPDシリーズが採用されています。手差しトレイを開ける際に発生する“衝撃”を軽減し、破損を防止します。



● 売上構成 (当連結会計年度)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 平成27年3月31日現在	前連結会計年度 平成26年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	5,252,610	5,447,570
現金及び預金	1,648,740	1,790,033
受取手形及び売掛金	1,949,136	1,821,852
電子記録債権	24,881	7,083
商品及び製品	317,995	605,713
仕掛品	550,702	526,855
原材料及び貯蔵品	571,197	562,736
繰延税金資産	94,789	90,084
その他	95,701	43,814
貸倒引当金	△533	△603
固定資産	2,942,229	3,274,613
有形固定資産	2,318,113	2,726,683
建物及び構築物	690,459	803,746
機械装置及び運搬具	115,552	222,105
土地	1,150,660	1,476,406
リース資産	261,470	—
建設仮勘定	8,555	15,868
その他	91,414	208,556
無形固定資産	165,223	79,609
投資その他の資産	458,893	468,319
投資有価証券	286,365	253,949
繰延税金資産	159,521	210,248
その他	15,968	8,060
貸倒引当金	△2,962	△3,939
繰延資産	6,344	8,583
資産合計	8,201,184	8,730,766

	当連結会計年度 平成27年3月31日現在	前連結会計年度 平成26年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	4,275,903	4,510,568
支払手形及び買掛金	1,242,183	1,090,308
短期借入金	2,308,000	2,580,000
1年内償還予定社債	20,000	20,000
1年内返済予定長期借入金	200,000	200,000
その他	505,720	620,259
固定負債	1,799,596	1,968,491
社債	440,000	460,000
長期借入金	600,000	800,000
リース債務	317,142	—
繰延税金負債	19,069	—
再評価に係る繰延税金負債	126,526	168,221
退職給付に係る負債	238,507	340,679
その他	58,350	199,589
負債合計	6,075,500	6,479,060
(純資産の部)		
株主資本	1,789,129	1,916,252
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	928,442	1,055,090
自己株式	△30,775	△30,300
その他の包括利益累計額	336,554	335,454
純資産合計	2,125,684	2,251,706
負債及び純資産合計	8,201,184	8,730,766

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	前連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	6,709,305	6,411,571
売上原価	5,241,813	4,816,025
売上総利益	1,467,492	1,595,545
販売費及び一般管理費	1,287,279	1,190,449
営業利益	180,212	405,096
営業外収益	61,556	36,584
営業外費用	75,569	116,448
経常利益	166,199	325,232
特別利益	51,865	—
特別損失	364,021	30,697
税金等調整前当期純利益又は純損失(△)	△145,957	294,535
法人税、住民税及び事業税	8,147	122,070
法人税等調整額	5,565	9,322
少数株主損益調整前当期純利益又は純損失(△)	△159,670	163,142
当期純利益又は純損失(△)	△159,670	163,142



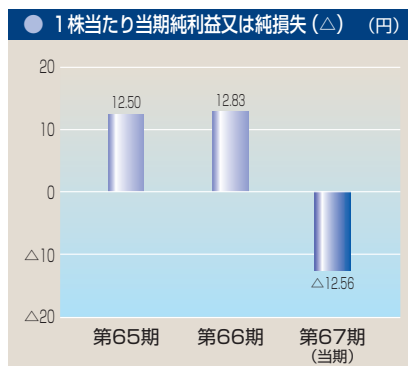
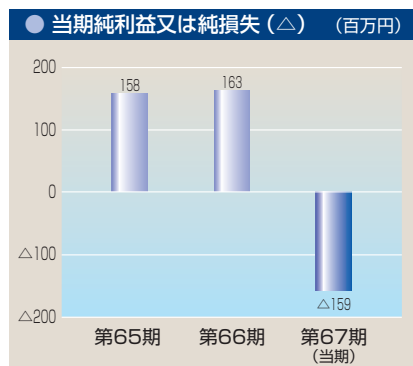
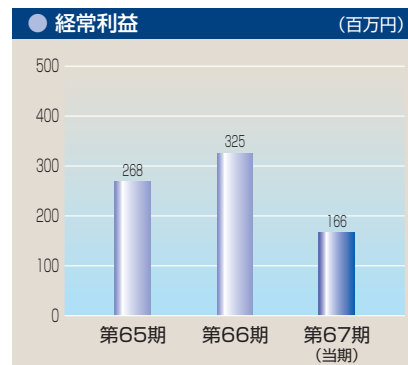
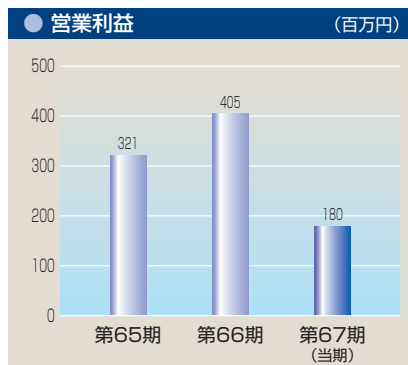
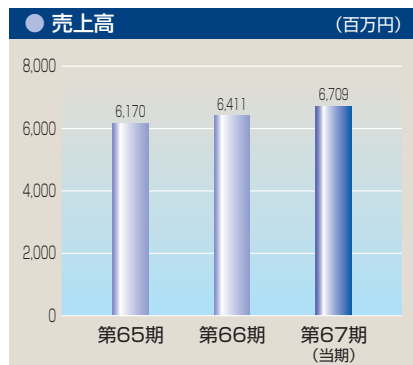
連結株主資本等変動計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額						純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	643,099	248,362	1,055,090	△30,300	1,916,252	30,743	312,412	12,972	△20,673	335,454		2,251,706
会計方針の変更による累積的影響額			45,282		45,282							45,282
会計方針の変更を反映した当期首残高	643,099	248,362	1,100,372	△30,300	1,961,534	30,743	312,412	12,972	△20,673	335,454		2,296,989
当期変動額												
剰余金の配当			△63,585		△63,585							△63,585
当期純損失			△159,670		△159,670							△159,670
土地再評価差額金の取崩			51,325		51,325							51,325
自己株式の取得				△474	△474							△474
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						24,784	△37,266	8,367	5,214	1,099		1,099
当期変動額合計	—	—	△171,930	△474	△172,404	24,784	△37,266	8,367	5,214	1,099		△171,304
当期末残高	643,099	248,362	928,442	△30,775	1,789,129	55,528	275,145	21,339	△15,458	336,554		2,125,684

区 分	平成25年度（第65期）	平成26年度（第66期）	平成27年度（第67期）
	連 結	連 結	連 結
売 上 高（百万円）	6,170	6,411	6,709
営 業 利 益（百万円）	321	405	180
経 常 利 益（百万円）	268	325	166
当 期 純 利 益 又 は 純 損 失（△）（百万円）	158	163	△159
純 資 産（百万円）	2,157	2,251	2,125
1株当たり当期純利益又は純損失（△）（円）	12.50	12.83	△12.56
自 己 資 本 比 率（％）	26.4	25.8	25.9



● 会社の概要 (平成27年3月31日現在)

商 号 不二ラテックス株式会社
 英 文 商 号 FUJI LATEX CO., LTD.
 設 立 昭和24年3月
 資 本 金 643,099,600円
 当 社 H P <http://www.fujilatex.co.jp/>

1. 当社グループの主要な事業内容

医療機器事業 コンドーム、水枕、プローブカバーの製造および販売
 精密機器事業 緩衝器の製造および販売
 S P 事 業 バルーン、販売促進用品の販売
 そ の 他 電工用手袋、食容器の製造および販売

2. 事業所所在地

本 社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1
 大 阪 支 社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-7-3 8階
 名古屋営業所 〒465-0025 名古屋市名東区上社4-202-5 1階
 福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-11 8階
 栃 木 工 場 〒328-0006 栃木県栃木市国府町150
 新 栃 木 工 場 〒328-0124 栃木県栃木市野中町1276
 真 岡 工 場 〒321-4301 栃木県真岡市西田井1402-3

3. 系列会社

不二ライフ株式会社
 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1 4階
 FUJI LATEX SHANGHAI CO., LTD.
 Room 1113-1115, No.360,
 Changshou Road, Putuo District,
 Shanghai, China. 200060

● 株式の状況 (平成27年3月31日現在)

1. 概要

発行可能株式総数 30,000,000 株
 発行済株式総数 12,861,992 株
 株 主 数 1,634 名

2. 大株主（上位10名）

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数（千株）	持株比率（%）
岡 本 和 子	1,896	14.92
岡 本 昌 大	1,366	10.75
岡 本 和 大	1,249	9.82
岡 本 明 大	1,060	8.34
不二ラテックス共栄会	541	4.26
(株) り そ な 銀 行	400	3.15
岡 本 正 敏	331	2.61
森 貴 義	300	2.36
(株) 大 木	275	2.16
オ カ モ ト (株)	268	2.11

(注) 持株数は表示単位未満を切り捨てて表示しており、持株比率は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

● 役員の状況 (平成27年6月26日現在)

取締役社長	伊 藤 研 二	取 締 役	賀 長 信 吉
専務取締役	岡 本 昌 大	取 締 役 監査等委員	柏 村 明 克
常務取締役	畑 山 幹 男	*取 締 役 監査等委員	深 沢 岳 久
取 締 役	渡 邊 正 徳	*取 締 役 監査等委員	辻 新 六

* 社外取締役

株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
定時株主総会基準日	毎年3月31日
剰余金配当基準日	毎年3月31日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 ☎ 0120-707-843
(電話照会先) 同 取 次 窓 口	日本証券代行株式会社の支店および三井住友信託銀行株式会社の本支店 (「コンサルティングオフィス」「コンサルプラザ」「i-Station」を除く)
公 告 方 法	電子公告により行います。URLは以下のとおりとなります。 (URL http://www.fujilatex.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、日本証券代行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の日本証券代行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

不二ラテックス株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1

03-3293-5681

<http://www.fujilatex.co.jp/>

